

瓊浦

第1号

令和4年3月1日発行

瓊浦高等学校

住所 長崎市伊良林
2丁目13番4号

電話 826-1261(代)

FAX 820-5245

今年もこの時期がやって来た。第七十三回卒業証書授与式。今年度、瓊浦高校を巣立っていく卒業生は二八六名。高校卒業後は、それぞれが別々の道に進み、新たな人生に向かっていく。高校生活を思い返すと、長かったと感じる人もいれば、あっという間だったと感じる人もいることだろう。卒業という大きな節目を迎えた今、それぞれの脳裏に浮かぶのはどんな出来事だろうか。

一八六人いれば、その中には二八六通りのドラマがある。それらは簡単には言い表せないほどの複雑なものだろう。勉強に、運動に、恋に、友情に、様々なことに挑戦し、成功し、失敗してきた三年間。楽しかったこと、悲しかったこと、嬉しかったこと、悔しかったこと、その全てがかげがえのない思い出であり、かけがえのない宝物となっていることに違いない。

卒業はゴールではない。新たな旅路のスタートだ。新生活の始まりには期待と不安が付きものである。卒業生の皆も、今日の別れに胸を痛ませながらも、新たな出会いに胸を膨らませていることだろう。

これから出て行く社会は、決して楽しいことばかりではない。これまでに味わったことのないような困難が待ち受けているかもしれない。けれども、辛い時こそ、思い出して欲しい。この瓊浦高校で学んだ三年間を、瓊浦高校で出会った多くの人たちのことを。そして、瓊浦高校で培った多くの力を。それらは、きっと君たちが困難に立ち向かうための助けとなってくれるはずだ。さあ行こう。新たな旅路のスタートだ!!

286名の新たな旅立ち

第七十三回卒業証書授与式挙行政

君の瞳に花開く夢をかなでる
心風に吹かれるこの道さえも
星明かりに照らされ今 ただ一人歩こう
胸を震わせるときめきを 空と大地に歌おう
哀しみも笑顔もぬくもりも 熱い思いに揺れて
今 抱きしめて歩こう 旅立ちの勇気を

地平線の光と分かち合うこの時
微笑みながらふりむかずに
夢をつかむ者たちよ 君だけの花を咲かせよう
争いの日々を乗り越えて 青空に歌う時
かけがえのない命のはてに 名もない花を咲かせよう
今 地球に生きる者よ 旅立ちの勇気を

虹色の彼方に語りかけるこの時
微笑みながらふりむかずに
夢をつかむ者たちよ 君だけの花を咲かせよう
夢をつかむ者たちよ 君だけの花を咲かせよう
『旅立ちの時』 作詞：ドリアン助川



たのびのうら

「諦めること諦めて世界を完全味方に」
これは、昨年末の紅白歌合戦にも出場した女性六人組グループBISHの「PAINT it BLACK」という曲の歌詞の1節である。「諦めるな」という言葉はよく耳にするが、「諦めることを諦める」という表現は、同様の意味でありながらも、少し異なった印象を受けるのではないだろうか。
人生は諦めの連続である。私たちは日々の生活の中で、なんだかんだ理由をつけて自分自身を納得させながら、様々なことを諦めている。諦めずに何事にも最後までやり抜き、全ての物事を成功させられれば、それにこしたことはないが、そんなに上手くいかないことが多いのが現実であろう。
けれどもそんな中で最後まで諦めなかった人たちが成功を取るのである。昨年夏に開催された東京オリンピック。その競泳競技において二つの金メダルを獲得した大橋悠依選手がBISHのファンで、先に紹介した曲をレース前によく聴いていたという話が当時話題になっていた。

「諦めることを諦める」ということは、「諦めることができる」ということ、つまり、「やるしかない」ということを意味する。あらゆる分野において、成功する人たちは、自分の限界を決めずに挑戦し続ける人々なのではないだろうか。
七十三回生の皆さん、本当に卒業おめでとう。二八六名の卒業生の皆さんは、これからそれぞれ別々の環境で、それぞれの夢に向かって進んでいくことになる。その道中全てが順風満帆で、何をやるでも上手くいく、なんてことはまああり得ない。時には失敗の連続で辛いこともあるだろう。壁にぶつかり、挫けそうになることもあるかもしれない。そういうときに、すぐに諦めてしまおうのか、粘り強く立ち向かうのかによってその後の人生が大きく変わってくると思われる。

当然ながら、一般的には、諦めずに立ち向かう方が素晴らしい。自分自身の成長にも繋がるし、周囲からの評価にも繋がることだろう。けれども、なかなか前向きに頑張るのが難しいというときは、「諦めることを諦める」という言葉を思い出して欲しい。前向きなのか後ろ向きなのかよくわからない言葉だが、少し張り詰めた気分を楽にしてくれるはずだ。

「諦めることを諦める」ということは、「諦めることができる」ということ、つまり、「やるしかない」ということを意味する。あらゆる分野において、成功する人たちは、自分の限界を決めずに挑戦し続ける人々なのではないだろうか。
七十三回生の皆さん、本当に卒業おめでとう。二八六名の卒業生の皆さんは、これからそれぞれ別々の環境で、それぞれの夢に向かって進んでいくことになる。その道中全てが順風満帆で、何をやるでも上手くいく、なんてことはまああり得ない。時には失敗の連続で辛いこともあるだろう。壁にぶつかり、挫けそうになることもあるかもしれない。そういうときに、すぐに諦めてしまおうのか、粘り強く立ち向かうのかによってその後の人生が大きく変わってくると思われる。

「諦めることを諦める」ということは、「諦めることができる」ということ、つまり、「やるしかない」ということを意味する。あらゆる分野において、成功する人たちは、自分の限界を決めずに挑戦し続ける人々なのではないだろうか。
七十三回生の皆さん、本当に卒業おめでとう。二八六名の卒業生の皆さんは、これからそれぞれ別々の環境で、それぞれの夢に向かって進んでいくことになる。その道中全てが順風満帆で、何をやるでも上手くいく、なんてことはまああり得ない。時には失敗の連続で辛いこともあるだろう。壁にぶつかり、挫けそうになることもあるかもしれない。そういうときに、すぐに諦めてしまおうのか、粘り強く立ち向かうのかによってその後の人生が大きく変わってくると思われる。

先生方から卒業する皆さんへ『贈る言葉』



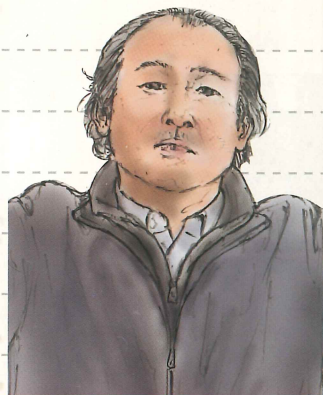
最後のホームルーム

Last Home room

時に厳しく、時に優しく、
皆を支え、見守ってくださった先生方

ともに笑い、ともに悩み、
ともに喜び、ともに学び合った三年間

君ありて幸福

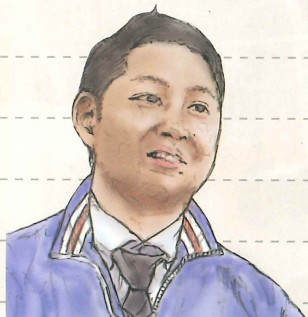


3学年主任
阿部 泰宣

コロナ禍。縮小や中止ばかりの学校行事や部活。登校停止期間は友人との些細な交流の日常さえ奪いました。その収束には未だ不安が募ります。皆さんへの我慢や理解のお願いに、失われた思い出、得られたはずの達成感や感動の大きさを考えると困惑するばかりです。1970年代の著書「成長の限界」に、世界経済や人口増加が加速し続ければ、環境破壊や食糧危機など、地球上の成長は100年以内に限界に達すると記されます。このパンデミックが私達に投げかける警笛は何か。家族、友人、限りある人生での大切な人との時間と気持ちの共有に、今まで感じたことのない様々な思いを巡らせた2年間でした。
2月の生徒がいない3年生棟の静寂。思いを巡らせば、朝夕の挨拶、会話と笑顔、学習や部活、その真剣な眼差しと各々の個性、何もかもが前向きで希望に溢れる情景ばかりです。

思い悩む姿や涙する場面さえ、確かな痕跡として浮かび、一人ひとりが、期待され、多くの人に愛され、育まれてきたことを感じずにはられません。
卒業式、皆さんが歩く花道に「ペラルゴニウム」という花を飾りました。花言葉は「君ありて幸福」。人の成長に、語りかけ、見守り、愛を注ぐことが必要なら、そして人生に、大との出会いと絆が不可欠なら、皆さんの存在は、その見えない力の結晶です。人生の花はいつ、いかなる形で開花するのか？自らの歩みでしかその答えを知る術はなく、その努力の過程と周囲への思いの深さに幸せの秘密の鍵が隠れているはず。卒業おめでとう。皆の未来にFight!の言葉を贈ります。そして、万感の思いを込め、卒業生286名との出会いに「ありがとう」を伝え、幸せを祈り続けます。

73回生の皆さん、卒業おめでとうございます。進学・就職と新たな道へと進んでいく皆さんは、希望に胸を膨らませていることでしょう。
春からの新生活では、大人として自覚と責任ある行動が求められます。はじめは慣れないことばかりで大変かもしれませんが、そこでの経験のすべてが財産となり、自分自身の成長につながるはず。新しい環境で、新しい仲間と共に、勉強や仕事を一生懸命に取り組んでください。応援しています。



普通科A組担任
正木 佳二郎



普通科A組副担任
荒木 康正

ほんじてって『凡事徹底』

ご卒業おめでとうございます。未知の感染症との戦いに制約が多い2年間でしたが、「誠実により良く生きる」を実践してもらえたのではないかと思います。高校生活で習慣化された、なんでもないような当たり前の事を徹底的に行ったことは、究極には当たり前のことを他人の追随を許さないほど極める一歩でもあります。若い皆さんにはまだまだ沢山の可能性があります。『己れの持つものに、他に超えたる優秀のものあるを知れ』。皆様の益々のご活躍を楽しみにしております。

卒業おめでとう
君たちの成長を身近に見ることができたことを、大変嬉しく思います。私の体と声の大きさを君たちよりも目立っていなかったか心配です。君たちの心に深く彫り込まれた『瓊浦魂』は、どんな苦難にも立ち向かっていけることと思います。よく学び、よく遊び、精一杯青春を楽しんだ3年間でした。ご両親に感謝し、これからさらに頑張ってください。より一層の活躍を心から期待しております。



普通科B組担任
小森 泰洋

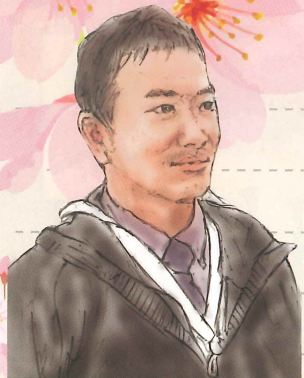


普通科B・C組副担任
野口 智徳

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！
来年度からそれぞれの道へ行き、明るい未来に向かって歩いていくと思います。そのようなみなさんに次の言葉を贈りたいと思います。

「現状打破」

これはプロマラソン選手である川内優輝選手の言葉です。川内選手は以前公務員ランナーとして走っており、34歳になった今でも成長し続けている選手です。「〇〇ができるようになるう！」のように昨日の自分になかったことを繰り返していけば必ず成長していきます。いろんなことに挑戦して、未来に向かって突き進んでください。将来の活躍を期待しています！



普通科C組担任
詫間 智之

73回生286名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。人生には必ず痛みが伴います。それは人生を満喫する・味わうために必ず必要なものです。人生における深い学びの多くは、大体が失敗や挫折の際に得られます。それは、今まで見えていたものを否定し、見えなかったものを見せる作用があるからです。

これからの人生、きっと多くの困難や痛みが皆さんを待っていると思います。が、「痛み」こそが本当の意味の前向きさをもたらしてくれます。優しさは痛みを知る人が、希望は絶望を知る人が、信頼は裏切りを知る人の方が、わかっています。様々な感情を知るためには、やはり向こう側を知る必要があるのです。

最後に、最近共感した言葉を皆様にお伝えして、詫間からの最後の授業を終えたいと思います。

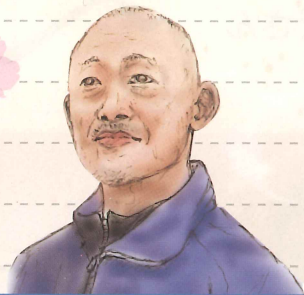
「枯れても腐るな」

皆様の人生がステキなものになりますよう。



普通科D組担任
末岡 政広

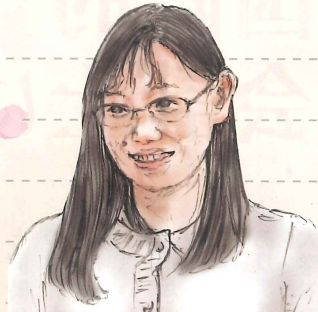
3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。皆さんにとって高校3年間は、どのようなものでしたか？充実した高校生活を送れた人も、そうでない人もいます。しかし、これもすでに過去のことです。過去は変えることはできませんが、未来は自分の努力次第で、良くすることはできると思います。皆さんの今後の活躍に期待しています。3年間ありがとうございました。



普通科D組副担任
堤 利貴

コロナ禍で制限の多い高校生活でした。そんな中でも君たちは学業・部活動・進路対策に取り組み、部の躍進に貢献し、自身の合格・内定を勝ち取ってくれました。73回生が「努力は人を裏切らない」ということを証明したのです。今後もそれを忘れずにチャレンジを続けてください。73回生の存在が私の喜びです。

君たちが巣立ってしまうのは寂しいですが、卒業おめでとう。出会ってくれてありがとう！



情報ビジネス科A組担任
本馬 晴子

73回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとは、3年間をともに過ごしました。入学時の、今よりも少し幼い笑顔が思い出されます。まだマスクなしでした！

社会が大きく変化している今、これまでの常識や慣例が通用せず、自分で道を切り開かねばならない場面が出てくると思います。そんな時代こそ、明るくしなやかにたくましく。行中止にもめげず、縮小開催を盛り上げ、どんな時も前向きに高校生活を駆け抜けた皆さんの本領発揮でしょう。新しい世界での活躍を期待しています。



情報ビジネス科B組担任
坂口 祐次

ご卒業おめでとうございます。皆さんはこの高校生活で、自分の行動に責任を持つこと、今何をすべきかを自分で判断することを学んだと思います。これからも、時に失敗することや、想像と違う結果になり、困ることもあると思いますが、自分で考え行動できる力を持っている瓊浦生なら、大丈夫！

卒業後の進路は様々ですが、これからも自分の道を自分で決め、素敵な人生を歩んでいってくださいね。



機械科A組担任
黒川 潤也

第73回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした3年間は色々な事がありました。毎日が楽しく、幸せな時間でした。本当に有り難うございました。

卒業後、皆さんは社会人として別々の道を進みます。社会人として色々な経験を積んでいく中で、必ず自分の人生を左右する大きなチャンスが巡ってきます。このチャンスが巡ってきた時に自分の真価を発揮するには「圧倒的な準備」が必要です。1%の「成功」を掴む為に日頃から常にベストを尽くせるように99%の「準備力」をしっかりと養ってください。

皆さんのご活躍を心よりお祈りしています。



機械科B組担任
福島 慎治

ご卒業おめでとうございます。私が中学生の頃から大切にしている武者小路実篤の言葉を贈ります。

『この道より我を生かす道なし』

この道歩く』

私自身、希望する道に進めず涙を流したことが何度かあります。しかし、皆さんと出会ったこの道に後悔はありませんし、胸を張って歩いています。これから先、いくつもの分岐点があり迷う時もあると思いますが、進んだ道で全力を尽くしてください。振り返った時にその道が最高の道だったと言えるように。たまには寄り道をして瓊浦高校に顔を出してくれることを楽しみにしています。



機械科A・B組副担任
宮崎 慎太郎

73回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私も君達と同じ、平成31年4月に瓊浦高校にお世話になりました。母校へ戻り、君達と過ごした3年間は、貴重な経験をさせてもらいました。ありがとう。

今から社会に出て行く上で、たくさんの困難に直面します。絶対に逃げないでください。挑んでください。コツコツ努力出来る人が、必ず人生の勝利者になります。

今後の活躍に期待をしています。3年間お疲れ様でした。ありがとうございました。



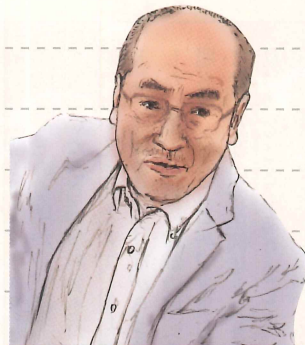
機械科C組担任
谷口 智章

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍で修学旅行や多くの行事の中止、縮小を余儀なくされましたが、ここ瓊浦高校でたくさんのことを学び、素晴らしい仲間と出会い過ごした日々は、皆さんを大きく成長させたことと思います。

そして、皆さんは高校を卒業し、「大人」への第一歩を踏み出しました。今まで育ててもらったことに感謝し、親御さんに精一杯の「ありがとう」を言いましょ。一番の親孝行になると思います。

私からも、多くの思い出をくれた皆さんへ。

「ありがとう」



機械科C組副担任
岡田 義晴

3年生諸君！ご卒業おめでとう！とは言え、コロナに始まり、コロナに終わった3年間だったね。世界中でこれまでに500万人が犠牲となった。14世紀中頃、ヨーロッパを襲った「黒死病」は、その人口の3人に1人が命を落とした「パンデミック」となった。それから幾度となく人類は、さまざまな感染症と必死に闘ってきた。歴史の教訓は必ずや今日に活かされると信じたい。諸君たちの未来が、明るい希望に満ちあふれんことを祈念します。

夢は世界へ

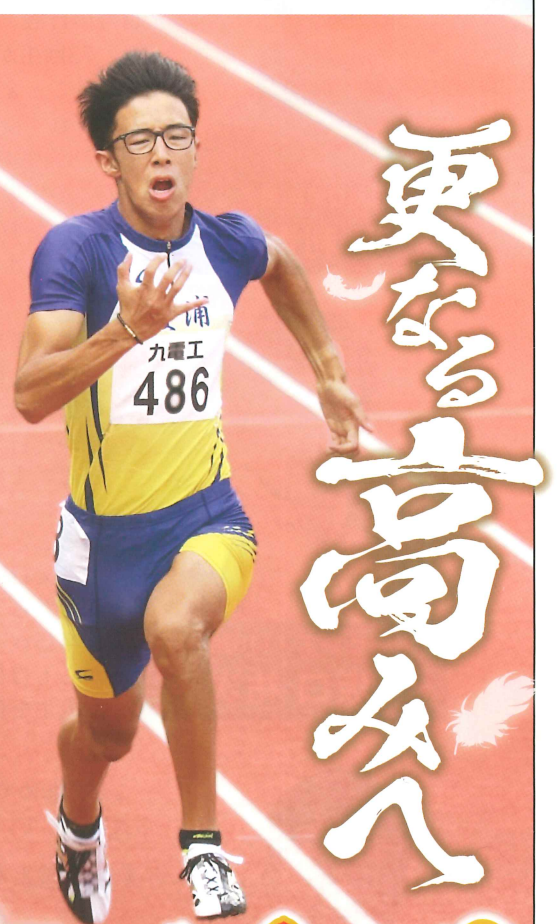
“国際的”に活躍する 会計士に

情3A 中島 優奈さん



卒業後の進路について教えてください。
長崎大学の経済学部を夜間主です。
大学では、どのようなことを勉強したいですか？

私には、将来公認会計士の資格をとるといふ夢があります。高校時代に情報ビジネス科で商業科目を学ぶ中で、専門的に勉強したいという思いが強く、なりました。長崎大学は、家から通えるという利便性はもちろん魅力ですが、海外への留学・研修制度などが充実しており、積極的に海外研修などに赴くことができるというのが魅力的に感じました。そうした環境で、勉強を頑張りたいと思っています。



更なる高みへ

機3C 山崎 一沙くん 可能性への挑戦

卒業後の進路について教えてください。
僕は、環太平洋大学の体育学部体育学科に進学します。陸上の短距離を専門にしており、更に競技力を高めたいというのと同時に、体育教師の免許を取得し、将来に役立てたいという思いから大学進学を決意しました。

今後の目標はなにかありますか？
大学での最終目標は日本インカレで優勝することです。そのためには、一〇〇メートルで十秒一台で走ることが必要になります。

現在の僕の自己ベストが七月の高校選手権で出した十秒六三なので、かなり難しい目標だと思いますが、大学で一から鍛え直し、目標を達成したいと考えています。

練習の際に、心掛けていることなどありますか？
僕が普段から心掛けているのは、練習をただこなすのではなくて、常に意識を高く持つということです。それは走るフォームであったり、準備体操であったりをしつかりと意識しながら行うことです。練習から本番を意識しながら、一つ一つの動きを無駄にしないということを日々実行しています。

高校生活を振り返ってみて、どのようなことが思い出として残っていますか？
やっぱり最後の高総体が思い出に残っています。今年度の高総体では、北九州予選の準決勝で敗退し、インターハイに出場するとうい目標は達成出来ませんでした。言い

陸上部顧問の小野先生からは「すごく研究熱心で、自分でしっかりと努力ができる選手」と評される山崎くん。中学時代のベストタイムは十一秒五台。県大会にも出場できなかった。そんな山崎くんだが、高校生活三年間で約一秒もベストタイムを伸ばし、瞬く間に県のトップ選手にまで上り詰めた。

最後に、後輩たちへメッセージをお願いします。
偉そうな言い方になりますが、僕は、何事においても、「どうせやるなら一番をとった方がいい」と思っています。そのために、今できることは何なのかを考え、一生懸命に取り組んで欲しいと思います。

私は幼少期から、家族での車を使つてのドライブが大好きでした。普段当たり前のように乗っている自動車は、どのような構造で動いているのかを機械科の授業を通して考えるようになり、より専門的な知識を身につけたいと考えられるようになりました。そして、学んだ知識を活かすことができる職種に就きたいという目標ができ、トヨタ自動車への受験を決めました。



トヨタ自動車株式会社 内定
中本 優孝(機械科A組)

合格体験記

高校生活を振り返ってみて、どのようなことが印象深いですか？

高校三年間を振り返ってみると、本当にいろんなことがありました。検定試験にしろ、部活動にしろ、その時々には、何が自分にとって重要なことか考え及ばず、ただ目の前のことに一生懸命取り組んでいただけだったように思います。今、思い返してみると、その小さなことの積み重ねがあつて、今の自分があるのだと感じています。これからは、一見するとくだらないことや意味の無いように思えることでも、目の前の一つ一つを疎かにせず、頑張っていきたいと思っています。

最後に、後輩たちへメッセージをお願いします。

高校三年間は、長いようで非常に短い。終わってみればあつという間です。だからこそ、時間を無駄にしないように、いろんなことにチャレンジしていつてもらいたいと思います。頑張ってください。

「普段は物静かであり目立つことはないが、一度やると決めたことへの集中力はもの凄いのがあつた。向上心が高く、検定試験など一生懸命に取り組んでいたため、大学に進学しても頑張ってくれるはず」。担任の本馬先生は中島さんのことをそう語った。

公認会計士の資格を得るには、国内最難関とも言われる国家試験に合格する必要がある。

中島さんも、非常に難しい夢だということとは理解している。大学入試の面接の際にも、非常に難しいという助言を受けたようだ。しかし、簡単に諦めるわけにはいかない。難しいのは百も承知。だからこそ挑戦する意義がある。いつの日か己の力で夢を掴み取り、公認会計士として活躍する中島さんの姿を今から楽しみにしたいものだ。

仲間とともに

普3D

田中市之介くん

気持ちで負けない

73
回生

それぞれの

卒業後はそれぞれの道に向かって、新たな一歩を踏み出す二七六名の卒業生。それぞれが別々の夢を抱き、唯一無二の人生のスタートをきる。そこで、本号では三人の卒業生にインタビューを行い、それぞれの今後について語ってもらった。



卒業後の進路を教えてください。

法政大学経済学部に進学します。法政大学は、今年度のインカレでは準優勝を果たしているバドミントンの名門です。先輩が在籍しているということもあるし、バドミントンをする環境として非常に充実しているということもあり、進学を決意しました。

高校時代を振り返ってみて、どんなでしたか？

非常に充実した三年間でした。バドミントンの力はもちろんですが、礼儀作法なども含め、人間的に大きく成長できた三年間だったと思います。顧問の先生の指

導はもちろんですが、その他の先生方、なにより高いレベルで日頃から競い合った仲間たちの存在が一番大きかったと思います。仲間たちに負けたくないという思いで頑張った結果として自分自身が大きく成長できたと思います。

練習中や試合中に心掛けていることは何かありますか？

僕が試合中にいつも心掛けていることは、「気持ちで負けない」ということです。バドミントンはその時々メンタルが大きく影響するスポーツです。どんな相手との対戦であっても、気持ちを強く持ち、絶対に負けないという強い意志で臨むことを心掛けています。また、ダブルスでは、パートナーとのコミュニケーションをしっかりとることを意識しています。それは試合中だけのことではなく、練習中やその他の普段の生活からです。そうした積み重ねが本番で生きてくるのだと考えています。

今後の抱負を教えてください。

大学では、一年次からインカレに全種目出場できるよう頑張りたいです。出るからには、ベスト4以上を目指したいと思えます。そして、大学卒業後は実業団に入り、プレーしたいと思っています。

後輩たちにメッセージをお願いします。

部活動でも何でも、「きつい」、「やめたい」という時が必ずあると思います。けれどもそこですぐに諦めず、踏ん張って頑張りたいと思います。そうすれば必ず開けてくる道があると思います。あとは、一緒に頑張る仲間のことを大切にして欲しいです。本当に辛いときに一番頼りになるのは仲間の存在です。

高校入学時は、同級生の中でも四、五番手の実力で、決してエリート選手ではなかった田中くん。けれども、「気持ちで絶対に負けたくなかった」という田中くんは、練習後も自主練に励むなどして、チームのエース的存在、全国でも上位に食い込むなど、世代を代表する選手となった。大学進学後もその気持ちの強さで、大活躍を続けてくれるのだと大いに期待している。

長崎県立大学

経営学部 経営学科 合格

廣瀬 綾杏 (情ビ科B組)



私は瓊浦高校で初めて出会った簿記の授業で、「教師になりたい」と思いました。きっかけは単純でした。中学生までは学習への意欲が低く、特に勉強に興味がなかった私に商業科目の魅力を見せてくれた当時の先生に憧れを抱いたからです。教員免許取得のために大学への進学を決意し、憧れだった先生と同じ大学に行きたいという思いから長崎県立大学を志望しました。

大学合格のため高校一年次から多くの検定試験に挑戦し、その中でも受験資格であった日商簿記二級には特に力を入れて取り組みました。検定以外では、様々な本を読み、語彙力を鍛えるようにしました。三年生になってからは本格的に受験を意識し、日々の学習により一層力を入れました。受験科目は小論文と面接だったため、どちらも私にとって苦手意識の強いものでしたが、早期から多くの問題に挑戦し、様々な大学の過去問題に取り組むなど対策を重ねました。また、知識を増やすために図書館で新聞を読み、ニュースを毎日見るように心がけました。面接では、多くの先生方にアドバイスをいただき、担任の先生と何度も話す内容を推敲し、練習を重ねました。

入試本番では、対策を練っていた問題が出題され、自信を持って小論文を書くことができました。面接では、大学の試験官の方に検定取得について話していただき、より一層自信を持つことができました。とはいえ、合格発表までの時間は不安でいっぱいでした。合格発表の際に、自分の受験番号を見つけたとき、安心感と嬉しさが胸一杯になり、今まで頑張ってきた良かったと心から感じました。

毎日夜遅くまで支えて下さった先生方にはとても感謝しています。この気持ちを忘れずに大学でも一生懸命頑張る、将来この瓊浦高校に恩返しできたらと思っています。

新たな才能光る



長崎新聞社が行っている、第41回ジュニア俳壇・歌壇年間賞に本校の浦濱

貴翔くん(情1A)の句が選出される。同賞は、毎月第二、第四月曜に長崎新聞の郷土文芸欄に掲載しているジュニア俳壇、同歌壇から毎年、最優秀作品を表彰している。今回は昨年一月から十二月末までに掲載された約一四〇〇句・首の作品が対象とされ、その中で浦濱くんの句が最優秀の十作品(俳句五句、短歌五首)に選出された。

今回の受賞を受けて浦濱くんは、「自分の経験をそのまま俳句にしたものが、受賞できたことはとても

嬉しいですね。これからまた、俳句をつくることになったら、受賞をできるような句をつくりたいと思います」と喜びの気持ちを語ってくれた。近年、バラエティー番組などでも取り上げられ、注目を受けている俳壇・歌壇の世界。限られた字数の中に、如何に思いを載せて表現できるかがポイントとなる。選評の先生の選句理由にもあったように、浦濱くんの句からは、高校生活の始まりのワクワク感が大いに伝わってくるようだ。今回のような本校生の受賞は、こうした普段あまり目にしない分野に目を向けるよいきっかけとなったのではないだろうか。

新しき校舎は迷路春の風

長崎新聞「ジュニア俳壇・歌壇年間賞」受賞!!



11月27日に東京で行われた「第10回ご当地!絶品うまいもん甲子園」全国大会において、本校情報ビジネス科の生徒三名が、見事特別賞となる「サカタのタネ」賞、「キューピー」賞のダブル受賞を果たした。

本大会は、地域を盛り上げるご当地食材を利用した、高校生による創作料理コンテストで、「食の甲子園」と呼ばれる一大イベントである。情報ビジネス科三年A組の浦川さん、西本さん、本山さんの三名が今回開発したメニューが、「彩フラワー巻き巻き」。県産野菜のPRと美しい花のデザインを軸に開発をした本メニューは、素材の一部に、校内で育てた野菜を用いるなど、食への感謝や地域活性化への思いを込めた料理となっている。今後は県内のS東美、Sマートでの商品化が決定しており、近いうちに私たちが手にとって彼女たちの創作した料理を味わうことができるようだ。今から楽しみに待ちたい。



彩 フラワー巻き巻き

第10回ご当地!絶品うまいもん甲子園

サカタのタネ賞

キューピー賞 受賞!!



受賞者一覧

瓊浦学園賞

松田蒼太(機3A)

校長賞

森山麻姫(普3A)

廣瀬綾杏(情3B)

中本優孝(機3A)

田中市之介(普3D)

私学賞

田中翔雪(機3A)

県教育委員会表彰

古川綾菜(普3A)

産業教育成績優秀者表彰

広瀬瑞稀(情3B)

宇都宮悠乃(機3B)

商業教育成績優秀者表彰

中島優奈(情3A)

県高体連卒業生顕彰

山崎一沙(機3C)

県高文連卒業生顕彰

小森響輝(機3C)

全国高校生新聞表彰

山本空弥(普3B)

松田基裕(普3D)

毎熊望来(機3B)

上川雄裕(機3C)

体育特別功労賞

宮川友結 棚原蓮

柳川蓮 田中市之介

小林遙輝 梅井智哉

瀧野夏揮 井手悠太(以上普3D)

体育功労賞

竹野友貴(機3B)

女子ハンドボール部

太田黒天 里明穂

西崎涼那(以上普3A)

男子バドミントン部

吉武美咲(以上普3D)

戸羽咲愛(情3B)

田中翔雪 岩永蛍(以上機3A)

前田水露(普2B)

女子バドミントン部

西尾小鈴(普2C)

松本結 中田来好

佐々木凜(以上普2D)

瀬戸口和香菜

文化功労賞

西崎凜佳(以上普1D)

櫻井煌介 南本和哉

縣涼介 奥野天斗

森阪直弘 西村陽翔

特別奨励賞

栗山寿一(以上普2D)

浦川愛加 西本琴美

本山優衣(以上情3A)

特別奨励賞

30周年皆勤賞

中中原音(普3C)

西山優哉(普3C)

太田黒天 北野莉央

里明穂 藤芹奈(以上普3A)

本多慎之介 山下慧

(以上普3C)

相川優梨菜 井手悠太

梅井智哉 浦本侑弥

神近涼雅 菅正直

小崎乃愛 小林遙輝

新谷実柚 田中市之介

田中琉星 棚原蓮

瀧野夏揮 原田剣

古井成士右 堀三志郎

柳川蓮 横田汰心

吉武美咲(以上普3D)

浦川愛加 並川拓海

西本琴美(以上情3A)

伊東由唯 今里こころ

松江樹(以上情3B)

江島光輝 川端令雅

田中翔雪 濱田陽成(以上機3A)

宇都宮悠乃

他力野竜也 平野天斗

宮崎匠歩 本村康将

山下裕月(以上機3B)

倉幸平 作本竜晟

中村曉義 森亮太

山口遥大 山本大貴(以上機3C)

令和4年度 1学期行事予定

4月	8日	始業式・新任式
		入学式・PTA入会式
	11日	部活動紹介
	14日	第1回部活動編制
	15日	歓迎遠足
	18日	面談週間(〜22日)
	22日	歓迎遠足予備日
	26日	心電図検査(〜27日)
	27日	心理テスト
		クレパリンテスト
	28日	第2回部活動編制
		第1回実力者査
5月	2日	振替休日(5月14日)
	13日	中間考査(〜14日)
	14日	PTA総会
	17日	メディア安全教育①
	23日	高総体特別時間割(〜3日)
	30日	振替休日(6月4日)
6月	2日	高総体推戴式
	3日	県高総体開会式
	4日	県高総体(〜7日)
	8日	振替休日(6月5日)
	14日	高総体結果報告会
	15日	第2回実力者査③
	16日	AED講習①
	20日	創立記念集会
		創立記念週間
	23日	期末考査(〜24日)
	25日	創立記念日
7月	1日	求人開始
	4日	理美容体験
	5日	生徒総会
	12日	メディア安全教育②③
	14日	校内競技大会
	15日	1学期終業式
	18日	三種面談・夏季補習
	26日	第1回学校説明会(〜29日)